

みまや通信

第2号



いわき市立総合磐城共立病院公式
facebook

共立病院公式フェイスブックを開設しています!!
ぜひ「いいね!」をお願いします。

看護部紹介



看護部が目指していること



副院長 兼 看護部長
鈴木 のり子

当院は、市民の最後の砦として、質の高い急性期医療の提供に努めています。

看護部では、次の3点を達成することが、看護師の採用と定着につながっていくと考えています。

①誇りとやりがいもてる看護

PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）を導入し、安全で安心な質の高い看護と看護力の向上により、患者さんの早期回復の促進を目指しています。

②キャリアアップを支援する教育体制の充実

病院にとって大切な人材として成長することを支援するため、看護師の一人ひとりが自分のキャリアに合った目標を立てながら、専門の知識や技術を段階的に学ぶことができる「クリニカルラダーシステム※」を導入しています。

また、新規採用の看護師には、専任の研修責任者と「プリセプター※」を配置して、指導にあたっています。

③お互いさま意識で支え合う暖かな人間関係

子育て期間や介護期間をお互いさま意識で、サポートし合っています。「WLB（ワーク・ライフ・バランス）検討会」を立ち上げ、働きやすい職場づくりに努めています。

※クリニカルラダーシステムとは、能力開発・評価システムの1つであり、各段階において期待される能力に対し、実践能力がどの程度到達しているのかを評価するシステムです。

※プリセプターとは、新たに入職した職員ごとに付いて教育指導にあたる職員をいいます。

PNS(パートナーシップ・ナーシング・システム)の導入

PNSとは、二人の看護師が対等な立場で、良きパートナーとして相互に補い合う看護提供方式です。お互いが持っている知識を伝え合いながら看護に活かすなど、質の高い看護が提供できるように取り組んでいます。互いの知識や技術、看護の心や気づきを伝え、看護の実践力を高め合うことが、信頼される看護師の育成につながると考えています。



教育

日々変化する医療に対応し、質の高い看護を提供するため、継続的な教育と自己研鑽によるキャリアアップを行っています。

新人看護師が社会人・専門職業人として成長できるように、専任の研修責任者を配置し、きめ細かなサポートを行っています。また、『クリニカルラダーシステム』を導入し、全ての看護師が目標に向かって、いきいきと活躍できるような人材育成に努めています。

当院には、救命救急看護認定看護師など11分野に14名の認定看護師がいます。認定看護師とは、医療が高度化する中で、医療水準の高い看護が実践できると認められた看護師です。認定看護師講座を開催し、看護師に最新の知識や技術を伝え、看護の質の向上に貢献しています。

看護補助者は、看護師からのアドバイスを受け、患者さんの身の周りの世話を中心に看護業務の補助を行っています。良質なケアの提供には看護師と看護補助者の協働が重要です。認定看護師から食事介助などの技術研修を受け、更に良い援助ができるように取り組んでいます。



地域貢献

市役所出前講座として、①「糖尿病教室～学んでみませんか、食事のとり方・生活の仕方～」、②「病院で働くナースと仲間たちのお仕事」、③「生命誕生のすばらしさ」、④「思春期の性を考えよう～自分の身体と心を知り、自分を見つめよう 助産師からのメッセージ～」の4講座を開設しています。

要望が多い講座は、小学生では「生命誕生のすばらしさ」、中学生では「思春期の性を考えよう」です。未来を担う子ども達の心と体の健やかな成長に関わっています。受講後の皆さんの感想は、「生命誕生はとても感動した。あらためて命の大切さを学んだ」、「両親に感謝したい気持ちになった」などです。

また、職場体験では、市内の中学校から医療に興味のある生徒を受け入れ、見学と体験を実施しています。各部署を見学しながら、病院で働くいろいろな職種の担当者から直接説明を受けます。目を輝かせて夢や希望を語る生徒に、私達看護師も元気と勇気ももらい励まされています。



冬の感染症対策について

冬に流行する代表的な感染症のインフルエンザウイルスとノロウイルスは、同じ感染症ということで、混同されがちです。

インフルエンザウイルスは、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、全身けんたい感などの症状が特徴で、高熱による急性脳症のほか、お年寄りの方や免疫力が低下している方では肺炎を伴うなど、重症化することがあります。

ノロウイルスは、ヒトの腸管で増殖し、おうと、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りの方などでは重症化したり、おうと物を誤って気道に詰まらせ死亡にいたるケースもあります。

それぞれの特徴等をまとめてみました。



区 分	インフルエンザウイルス	ノロウイルス
主な症状	<ul style="list-style-type: none"> ●38℃以上の発熱 ●頭痛、関節痛、筋肉痛 ●全身けんたい感 ～全身症状～ 	<ul style="list-style-type: none"> ●37℃～38℃の発熱 ●おうと、下痢→脱水 ～胃腸の病気～
主 な 感染経路	<ul style="list-style-type: none"> ●感染者からのくしゃみや咳の吸い込み 	<ul style="list-style-type: none"> ●感染者からのおうと物、便の接触 ●感染者からのくしゃみや咳の吸い込み ●感染者が調理した物を食べたとき ●二枚貝を十分に加熱しないで食べたとき
潜伏期間	<ul style="list-style-type: none"> ●1日～3日程度で発症 	<ul style="list-style-type: none"> ●1日～2日程度で発症
予防接種	<ul style="list-style-type: none"> ●ワクチン <p>※ワクチンは体に入り込んだウイルスを完全に抑えることができません。最大の効果は重症化を予防することです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ない
治 療 法	<ul style="list-style-type: none"> ●インフルエンザ治療薬の投与 <p>※治療薬を使用する、しないは医師の判断になります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●有効な治療薬はない ●脱水症状がある場合は、水分と栄養の補給、症状がひどい場合は、病院で輸液(点滴)など <p>※下痢症状があるときの下痢止めの服用は、回復を遅らせることがあります。</p>

【感染拡大予防】



どちらにも共通している対策は、手洗いを徹底し、マスクを着用することですが、ウイルスの特性により、対策には違いがありますので、確認してみましょう。

区 分	インフルエンザウイルス	ノロウイルス
主な対策	<ul style="list-style-type: none"> ●手指消毒 ●マスク着用 ●うがい ●室内を適切な湿度(50%～60%)に保つ <p>※空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下し、かかりやすくなります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●石鹼液と流水による手洗い ●おうと物処理時の手袋やマスク着用 ●食品はしっかり加熱 ●キッチンや調理器具の消毒
除菌方法	<p>インフルエンザは、消毒剤に対する抵抗力が弱いウイルスです。手指消毒などに有効な消毒剤としては、「消毒用エタノール」、「次亜塩素酸ナトリウム」、「ポビドンヨード」などがあります。</p> <p>これらは、鳥インフルエンザウイルスや豚インフルエンザウイルスにも有効とされています。</p>	<p>感染者のおうと物や便を処理する場合は、部屋を十分に換気し、使い捨ての手袋やマスクをつけ、タオルやペーパータオルなどで除去します。</p> <p>次に、「次亜塩素酸ナトリウム」で浸すように床を拭き取り、その後、水拭きします。</p> <p>ノロウイルスは感染すると空中に漂い、口に入って感染することがありますので、おうと物や便を乾燥させないうちに処理することが重要です。</p>

(参考資料) 厚生労働省：「インフルエンザQ&A」、「ノロウイルスに関するQ&A」



インフルエンザウイルス

＝ 当院での対策 ＝



ノロウイルス

- ◆免疫力が低下している入院患者さんは、感染しやすい状態にあるため、感染防止を目的に、日頃から面会時の「マスクの着用」と「手指の消毒」のご協力をお願いしております。
- ◆冬は、インフルエンザウイルスやノロウイルスなどへの感染症が特に流行しやすいことから、患者さんを感染から守るために、面会は、原則として「ピンク色の家族カードがある成人」に限らせていただいております。医師からの治療説明などで、面会以外にご家族が来院する場合は、総合案内又は入院病棟のナースステーションに声をかけてください。
- ◆通常の面会より厳しい体制をとらせていただくのは、入院患者さんが感染症にかかり、手術が延期になったり、重症化して生命にかかわる場合があるからです。特に、発熱、咳、吐き気や下痢などの症状があるときは、面会をご遠慮ください。

患者さん、ご家族、来院者の皆様には、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆ 内科

区分	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日			
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
新患	1	高橋 成一 池谷 伸一 (交代)	須貝 吉樹		齋藤 悠 佐々木敦宏 織内 優好 (交代)		中山 晴夫		土佐 正規 池田 智之 駒沢 大輔 (交代)			
	2	油井 満	柳葉 久美		(当番制)		油井 満		(当番制)			
	再来	3										
		4	池田 智之				高橋 成一 IBD 専門	池田 智之		上野 孝治		
		5	須貝 吉樹	須貝 吉樹	齋藤 悠		須貝 吉樹	池谷 伸一	池谷 伸一	織内 優好		
		6	駒澤 大輔		中山 晴夫	土佐 正規 IBD 専門	中山 晴夫	佐々木敦宏	中山 晴夫	高橋 成一		
		7	高木 祐介		杉 正文	第1・3 ペースメーカー 第2・4 ICD					塙 健一郎	
		8	市原 利勝					相澤健太郎	山本 義人 (第1・3)	山本 義人 (第2・4) 14:00~		
		9	工藤 俊		山下 文男		瀬川 将人					
		10	山本 義人			高木 祐介						
		11	小野 利夫		小野 利夫		渡辺 崇	緑川 早苗 第2・内分泌			渡辺 崇	
		12	阿久津和子		齋 敏明	齋 敏明	濱崎 洋一		小野 利夫	阿久津和子 14:00~	齋 敏明	齋 敏明
神経内科(再来)			大学(第1,第3)(変更有)									
心療内科(予約)		岩橋 成寿	岩橋 成寿		岩橋 成寿		岩橋 成寿		岩橋 成寿			

※消=消化器内科 循=循環器内科 糖=糖尿病・内分泌科 腎=腎臓・膠原病内科 血=血液内科 IBD=炎症性腸疾患
 ※一つの欄に複数の名前がある場合は、記載の医師が当番制により担当します。

区分	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後								

◆ 小児科【午後(専門外来診察)は完全予約制】

1	鈴木 潤	森島 重弘:循	鈴木 潤	石井 まり:ア	鈴木 潤	(交代):予	鈴木 潤	森島 重弘:循	鈴木 潤	鈴木 潤:血
2	根本 照子	石井 まり:ア	根本 照子	本田 義信:新	根本 照子	鈴木保志朗:腎	塙 淳美	藤江 弘美:神	石井 まり	藤江 弘美:神
3	(交代)	吉原 康:内	(交代)	(交代):1	(交代)	藤江 弘美:神	(交代)		(交代)	吉原 康:内
4										本田 義信:新

※循=循環器 血=血液 内=内分泌 ア=アレルギー 新=新生児発達 1=1ヵ月検診 予=予防接種 腎=腎臓 神=神経

◆ 小児外科

1	(手術)	神山 隆道	佐野 信行	(検査)	(手術)	神山 隆道	神山 隆道	(検査)	(手術)	佐野 信行
---	------	-------	-------	------	------	-------	-------	------	------	-------

※月曜日午後の診察は、午前中の手術の状況により休診する場合があります。

◆ 皮膚科

1			大学	大学	大学					
---	--	--	----	----	----	--	--	--	--	--

※火曜日の診察は 10:00 からになります。

◆ 心臓血管外科

1	藤宮 剛	入江 嘉仁	(手術)		藤宮 剛	入江 嘉仁	(手術)		(手術)	
2					北川 彰信					

◆ 呼吸器科・禁煙外来

内外	大学	大学	大沼 菊夫	油井 満 (禁煙外来)			大沼 菊夫		大学	大学
									大学 (院内紹介) 第1,2,4,5金曜日	

※内=内科 外=外科 ※呼吸器科は、全て再来診察のみとなります。 ※禁煙外来は、地域医療連携室を通じた予約となります。

◆ 外科

新患	新谷 史明		川口 信哉		橋本 明彦		川口 信哉		吉田 寛	
	阿部 道夫		白相 悟		九里 孝雄		片桐 宗利		永井 有	
	乳腺外科・非常勤 第1・3・5		吉田 寛				橋本 明彦		白相 悟	
			高野 成尚				藤川奈々子			
再来							篠崎 康晴			

学会や緊急手術等により変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

当院では予約診察を行っており、表中の□部は予約優先（一部完全予約制）となります。詳細は各診療科でご確認ください。

区分	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
	午前	午後								

◆ 形成外科

1		檜垣 仁志		檜垣 仁志		(当番制) 14:00~		檜垣 仁志		薄葉 千絵
2		(当番制)		(当番制)				平井 浩気 (不定期)		笠井 文博
3		(当番制)		(当番制)				(当番制)		(当番制)

※形成外科は日にち予約となります。

◆ 産婦人科

1			本多つよし		本多つよし		本多つよし		本多つよし	
2	(交代)		(交代)		西山 浩		(交代)		西山 浩	
3	(交代)		(交代)	1ヶ月検診	三瓶 稔 (手術)		村田 強志		三瓶 稔 (手術)	

※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。

◆ 整形外科

1	半田隼一 脊 -	安永 亨 14:00~16:00 ス	江尻 荘一 手 -		江尻 荘一 手 -		大 学		半田隼一 脊 -	
2	相澤利武 肩 股				相澤 利武 肩 股					相澤利武 肩 股 15:00~16:00
3	岩津 潤 外 -		大 学		笹島 功一 外 足		笹島 功一 外 足		松澤 岳 肘 股	
4	松澤 岳 肘 股		横田 武尊 外 -		大柳 琢 外 肩				濱田 壮志 外 -	
5	大柳 琢 外 -				安永 亨 膝 -				安永 亨 膝 -	

※脊=脊椎 外=外傷・骨折 手=手・外傷 足=足・外傷 肘=肘・外傷 肩=肩・股関節 股=足・股関節 膝=膝関節・スポーツ ス=スポーツ
※初診の場合は、かかりつけ医からの紹介状が必要です。

◆ 脳神経外科

1	増山 祥二		(手術)		増山 祥二		(手術)		増山 祥二	
2	鈴木 保宏		(手術)		鈴木 保宏		(手術)		鈴木 保宏	

※2診の診察は、9:30より開始します。

◆ 泌尿器科

1	(手術)		徳山 聡		徳山 聡 (手術)		徳山 聡		徳山 聡	
2	(手術)		上野 誠司		上野 誠司 (手術)		上野 誠司		上野 誠司	
3	(手術)		村川 裕希		村川 裕希 (手術)		村川 裕希		村川 裕希	

※水曜日は、新患の診察は行っていません。

◆ 眼科

1	油井理恵子 (検査治療)		油井理恵子 (手術)		油井理恵子 (検査治療)		油井理恵子 (手術)		油井理恵子 (検査治療)	
2	今野 瑛之 (検査治療)		今野 瑛之 (手術)		今野 瑛之 (検査治療)		今野 瑛之 (手術)		今野 瑛之 (検査治療)	

※火曜日と木曜日の受付時間は、10:00までになります。月・水・金曜日の午後は、予約検査・治療のみとなります。

◆ 耳鼻咽喉科【午後は完全予約制】

1	高梨 芳崇		高梨 芳崇		(交代)		高梨 芳崇		(交代)	
2	田畑 摩純		田畑 摩純		(交代)		田畑 摩純		(交代)	
3	石田 英一	腫瘍外来	石田 英一	検 査	(交代)		石田 英一	学童外来	(交代)	
4	吉田 拓矢		吉田 拓矢		(交代)		吉田 拓矢		(交代)	

※学童外来の受付時間は、11:40~15:00です。

◆ 歯科口腔外科

新患 再来	(交代)				内藤 博之		佐藤 浩子		金丸 健太	
	(交代)	(手術)		(手術)	佐藤 浩子 (手術)		内藤 博之 (手術)		内藤 博之 (手術)	
	(交代)				金丸 健太		金丸 健太		佐藤 浩子	

◆ 麻酔科

1		(当番制)		(当番制)		(当番制)		(当番制)		
2										飯嶋 千裕

※1=術前評価 2=ペインクリニック ※当番制=麻酔科医師が当番制で担当します。 ※月~木曜は、日にち予約となります。

◆ 放射線科

1	大学(再診のみ)				大 学		大 学			
---	----------	--	--	--	-----	--	-----	--	--	--

◆ 透析センター外科

1			小柴 貴明							
---	--	--	-------	--	--	--	--	--	--	--



当院は、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受け、様々な活動をしております。その活動の中から、今回は「がんサロン」についてお知らせします。

がんサロンは・・・

- がん患者さんやそのご家族が会う場所
- 対話を通して不安や孤独を和らげる場所
- より良く過ごすきっかけを自分のペースで見つける場所
- がんに関する情報を交換する場所

これらのような場所にしたいという考えのもと、院内に開設しました。

当院へ通院・入院中の方だけでなく、がん患者さん、そのご家族であればどなたでも参加することができます。

がんサロンを開催して2年が経過し、毎回10名ほどの方々に参加していただいております。院内の様々な職種のスタッフが協力して開催しています。

お気軽にご参加ください。

開 催：毎月第3火曜日午後1時30分から午後3時まで
 会 場：当院 がんサロン室
 参 加 費：無料
 対 象：がん患者さんとそのご家族(予約不要)
 主 な 内 容：ミニ講演(院内の専門職員が担当)
 茶話会(ゆっくり語らいのティータイム)



今後のがんサロン(ミニ講演)の予定

10月17日(火曜日)	がん相談支援センターをご存知ですか(担当:ソーシャルワーカー)
11月21日(火曜日)	日常生活を維持するための気力、体力、筋力について(担当:作業療法士)
12月19日(火曜日)	頭皮ケア、美容ケアについて(担当:アピランス業者)

○ソーシャルワーカーとは

…保健医療機関において、患者さんやその家族の方々の抱える様々な問題の解決、調整を行うなど、社会復帰の促進を図る仕事をしています。

○作業療法士とは

…日常生活の動作や細かな動作について、その能力を高めるための運動の補助や指導をしています。

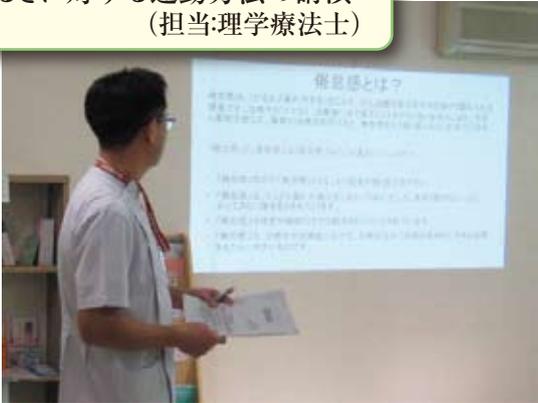
○アピランス業者とは

…がん治療による脱毛・肌トラブルなどの変化は、がん患者さんに心理的にも社会的にも大きなストレスを与えています。アピランスケアは、そういった外見のケアを通して、広い意味では患者さんと社会をつなぐ役割を持っており、アピランス業者はそのお手伝いをしています。

Cancer Salon

がんサロンのひとコマ

だるさに対する運動方法の講演
(担当:理学療法士)



食事の勉強会
(担当:管理栄養士)



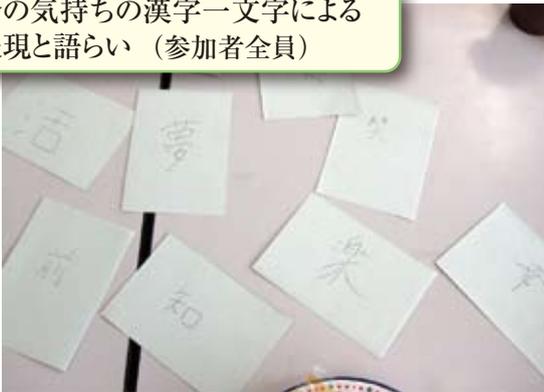
治療に伴う外見の変化に対するケアの講習
(担当:がん化学療法看護認定看護師)



リラクゼーション方法の実演
(担当:心理判定員)



今の気持ちの漢字一文字による
表現と語り (参加者全員)



図書の貸出しや資料の配布による
最新のがんに関する情報発信



【お問い合わせ】
医療福祉相談室内 がん相談支援センター 担当: 會田、作山
電話番号: 0246-26-3117
★がん相談支援センターでは、患者さんご本人やご家族からの様々なご相談をお受けしています。
お気軽に医療福祉相談室へお問い合わせください。

「おくすりを上手に飲む方法」

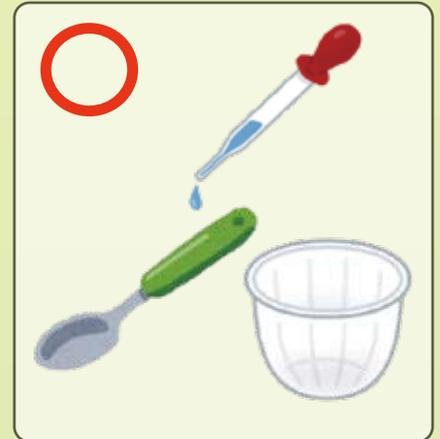
季節の変わり目に心配なのが風邪!お薬を何気なく飲んでいませんか?

今回は、お子さんやお年寄りの方がお薬を飲む際の注意点について紹介します。



小児編

お薬をミルクに混ぜて飲ませてはいけません。ミルク嫌いになってしまう場合があるので、スプーンやスポイト、ほ乳瓶の乳首、小さめのコップなどで飲ませましょう。



① シロップ

スポイトを使用する場合、お子さんのほっぺの裏に当てるようにお薬を出すことがポイントです。ほ乳瓶の乳首を用いる場合、はじめに、お子さんにほ乳瓶の乳首を吸わせてから、お薬を流してあげるのがコツです。

注意点 お薬を飲ませる際に使用した容器等はしっかり洗浄することが重要です。シロップは液体なので、量を間違えやすく、使用後の容器では雑菌が繁殖しやすいです。

② 粉 薬

ペースト状にしたり、アイスクリームに混ぜたりするのがオススメです。アイスクリームに混ぜて食べさせることにより、冷たさで舌の感覚が一時的に鈍くなり、お薬の味をごまかしながら、飲ませることができます。



注意点 粉薬は水に溶かしてペースト状にすると、味のコーティングが剥がれ、苦味が出る可能性があります。ペースト状にする場合は、お子さんの上あごやほっぺの裏にすりつけ、その後で水を飲ませて、お薬を飲み込ませてください。

*アイスと一緒に食べさせると体が冷えて、咳が出る可能性があります。アイスの量は多すぎないように注意しましょう。

高齢者編



高齢者は、加齢に伴い飲み込む力が弱くなっているために、誤ってお薬が気管に入ってしまったたり、誤嚥(ごえん)性肺炎になってしまったり、のどに詰まらせてしまうなどの危険性があります。

飲み込みやすくするために、むやみにお薬を粉状にしたり、カプセルの中身を出さないように注意しましょう。

粉状にしてもお薬の効果が同じように発揮されるお薬もありますが、中にはゆっくりお薬が溶け出して、長く効くように作られているものもあります。



お薬の効果を落とすことなく、安全に飲む方法を2つ紹介します。

- ①とろみ剤・ゼリー剤を使用することで、特に粉薬を飲み込みやすくします。
- ②オブラートをを使用することで、苦みのあるお薬や粉薬を飲みやすくします。オブラートがのどに貼り付いてしまうなど、逆に飲み込みにくい場合もあるので、そんな方には①がオススメです。

*とろみ剤・ゼリー剤、オブラートはお近くの薬局さんで簡単に購入できるものなので、ぜひ試してみてください。

お知らせ

●職員募集について

職 種	採用予定人員	受験資格
看護 師	若 干 名	昭和57年1月2日以降に生まれた者で、看護師の免許を有する者
助 産 師	若 干 名	昭和52年1月2日以降に生まれた者で、助産師の免許を有する者
薬 剤 師	若 干 名	昭和47年1月2日以降に生まれた者で、薬剤師の免許を有する者
診療情報管理士	1名程度	昭和57年1月2日以降に生まれた者で、診療情報管理士の資格を有する者

- ・試験日:平成29年10月25日(水曜日)
- ・試験場所:いわき市立総合磐城共立病院
- ・申込方法:いわき市総務部職員課または当院総務課に備え付けの申込書を当院総務課へ提出
- ・申込期限:平成29年10月16日(月曜日)

※申込書は、郵送での取り寄せのほか、市ホームページからもダウンロードができます。

○お問い合わせ
総合磐城共立病院 総務課 職員係 電話:0246-26-3177

●当院の受診について

一般的な病気や長期にわたる経過観察が必要な患者さんは、まず、地域のかかりつけ医を受診していただき、さらに、専門的な検査や治療が必要になった場合には、紹介状をお持ちいただき、当院を受診くださいますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちでない場合は、次のとおり、診療費とは別に加算料金をいただくこととなりますので、ご了承ください。

なお、受診の際は、かかりつけ医を通じて当院の地域医療連携室にて予約をすると、待ち時間の大幅な短縮になります。

徴収要件(加算料名)	区分	徴収金額(税込)
初診時に紹介状なしで受診した場合(非紹介患者初診加算料)	医科	5,400円
	歯科	3,240円
他医療機関へ文書による紹介を行ったにも係わらず当院を再受診した場合(逆紹介患者再診加算料)	医科	2,700円
	歯科	1,620円

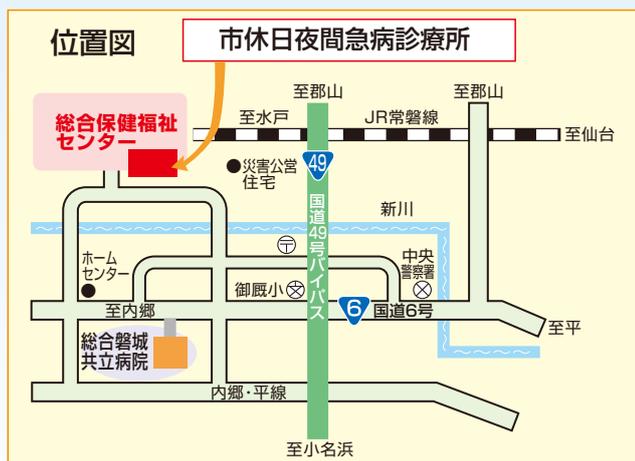
※徴収の対象とならない患者さんもおりますので、詳しくは医事係までお問い合わせください。

○お問い合わせ
総合磐城共立病院 医事課 医事係 電話:0246-26-3997

●いわき市休日夜間急病診療所の所在地及び診療時間について

1 診療所の所在地

市休日夜間急病診療所は、平成29年6月1日に、当院敷地内から市総合保健福祉センター駐車場内へ移転しました。



2 診療時間

診療時間は、次のとおりになりますので、お間違いのないようご受診ください。

区 分	診 療 時 間
平 日	午後8時から午後11時まで
日 曜 日	午後2時から午後11時まで ※午後6時から午後7時の1時間は休診
祝 日 等 ※	午前9時から午後11時まで ※午後1時から午後2時及び午後6時から午後7時の2時間は休診
土 曜 日	午後8時から翌日午前7時まで

※祝日等とは、祝日、お盆(8月13日から8月15日まで)及び年末年始(12月30日から翌年1月3日まで)をいいます。

○お問い合わせ
いわき市休日夜間急病診療所 電話:0246-27-1208



編集後記

日本における救急医療体制は、都道府県が作成する医療計画に基づいており、福島県でも「重症度」に応じて、第一次救急医療(比較的軽症の患者を開業医や休日夜間急病診療所が主に受け入れ)、第二次救急医療(中等症・重症な患者を輪番制をとっている救急指定病院などが主に受け入れ)、第三次救急医療(重症の中でも高度な措置を要する患者、重篤な患者を主に救命救急センターが受け入れ)の3段階体制をとっており、医療機関の役割分担を進めています。

当院は、主に第三次救急医療を担当しており、「救命救急センター」は、いわき医療圏だけではなく相双医療圏の南部も含め、24時間体制で担当しています。

いわき市消防本部の平成28年度統計データでは、年間12,017人の救急搬送者のうち、当院は、その3分の1の約4,000人を受け入れています。

医師不足が顕著ないわき医療圏において、「救命救急センター」は、4人の医師に研修医1人を加えた5人だけで運営している状態です。先生方には頭が下がります。

今回発行した広報誌については、当院ホームページでも閲覧可能です。
みまや通信の次号は、平成30年2月発行予定です。